

産業保健活動におけるコスト分析法の一例		
ガイドラインステップ	キーワード (6つ以内)	・コスト分析 ・健康会計 ・製造業 ・コミュニケーション
1～2・9・16		
改善・取組みの背景と課題	<p>企業活動における産業保健活動の位置づけやインパクトを明確にし、より戦略的に活動を推進するためには、経営者が意思決定できるように産業保健活動を表現することが有効と考えられる。産業保健活動の経済的評価を行うためには、衛生・健康管理活動にかかるコストを算出することが必要であり、我々はそのためのツール(安全衛生コスト集計表)を開発した。このツールを利用することで経営者が全体最適を考慮して予算配分を決定し、産業保健スタッフが活動内容や活動ごとのコスト配分を可視化できるように工夫した。</p> <p>製造業の1事業所において、産業医、保健師、安全衛生担当者等の関係者と協力し、本ツールを活用して産業保健活動のコスト分析を行った事例を紹介する。</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>我々が事業所において産業保健活動を行う際、例えば健康診断を外部委託で実施する場合、委託業者へ支払う費用(外注費)が発生するほかに、受診者の職場離脱分の人件費、健診事後措置面談にかかる経費・人件費など、日頃我々が見過ごしがちな様々なコストが発生している。効率的、効果的な産業保健活動を促進するためには、非生産部門の一つである安全衛生部門であっても、活動の費用対効果を可視化し、活動内容の評価を試みる必要がある。費用対効果を考える場合、現状では効果面についての標準的な指標が定まっていない。そのため、まずは先行研究で開発したツールを利用して費用面を算出し、産業保健活動の活動内容とコスト分配について可視化するとともに、算出されたコストデータの活用法について提案することを試みた。</p>	
改善・取組みの概要	<p>・<u>安全衛生コスト集計表の算出</u></p> <p>150人規模の製造業。産業医、保健師、安全衛生担当者に対して、実際の活動内容を聴取するとともに、安全衛生コスト集計表の使用方法を口頭で説明し、安全衛生担当者と協力してコストを算出した。15項目に分類された個別の活動項目に対し、活動のコストを経費・投資額・人件費に分類して記入した。図表は集計表の一部である。集計表を埋める作業はかなりの作業量となるため、時間的に余裕のあるスケジュールを立て、安全衛生担当者に対してコスト算出の目的と利点について丁寧に説明し、その意義について十分な理解を得ることで、モチベーションが下がらないように努めた。</p> <p>・<u>コストデータ活用法の提案</u></p> <p>安全衛生コスト集計表を利用することで、産業保健活動全体の活動内容やコスト配分を可視化することができるが、コストの配分法については事業所毎に目的が異なるため、</p>	

